

市民向け講演会／市民への周知啓発

在宅医療・介護連携推進講演会

- テーマ
 - ・1部／体験コーナー（血圧測定、介護食体験、認知症介護相談、オレンジカフェ）
 - ・2部／「知っておきたい！在宅医療・在宅ケア」
- 講師：ノンフィクションライター 中澤まゆみ 氏

- 開催日程 平成31年2月5日（火） 1部 13時～ /2部 14～16時

- ねらい 在宅医療と介護の連携について、広く普及啓発する

- 参加者 141名（アンケート回収85名）

- 講演内容
 - ・人生100年時代を迎えるにあたって
 - ・友人の後見人から突然介護者へ
 - ・在宅ケアチームの役割
 - ・地域ケアへの住民参加のかたち

- 今後の展開
在宅医療と自宅での看取りについて、より具体的で身近な内容の啓発活動を企画する。
また、ACP（人生会議）の重要性も啓発していく。

■会場の様子



H31.2.5 在宅医療・介護連携推進講演会 アンケート集計結果

n = 85

1. あなたの性別は

①男	22名	③未回答	2名
②女	61名		

2. あなたの年齢は

①90歳以上	0名	④60歳代	15名
②80歳代	13名	⑤50歳代	2名
③70歳代	52名	⑥50歳未満	3名

3. 現在、家族が在宅医療（訪問診療）を利用していますか

①利用している	3名
②利用していない	79名
③未回答	3名

4. 講演会の内容はいかがでしたか

↑	10	20名	32%	} 40%
	9	5名	8%	
	8	21名	33%	
	7	8名	13%	
	6	4名	6%	
↓	5	4名	6%	
	4	0名	0%	
	3	1名	2%	
	2	0名	0%	
	1	0名	0%	

(未回答22名含まず)

「非常に良い」に該当する9以上が40%
NPS（ネット・ promoter スコア）26ポイント
⇒おおむね高評価であった。

5&6. あなたは在宅医療を希望しますか

	5-1. 講演を聞く前	6-1. 講演を聞いた後	
①希望するし実現可能だと思う	23名 (27%)	30名 (35%)	} 84%
②希望するが実現は難しい	35名 (41%)	42名 (49%)	
③希望しない	20名 (24%)	9名 (11%)	
④未回答	7名 (8%)	4名 (5%)	

6人 ↑ (①から②へ)
4人 ↓ (②から①へ)
11人 ↓ (②から③へ)

5 & 6. 最期を迎えたい場所はどこですか

	5-2.講演を聞く前	6-2.講演を聞いた後
①自宅	50名 (59%)	48名 (56%)
②介護施設	8名 (9%)	13名 (15%)
③医療機関	26名 (31%)	20名 (24%)
④未回答	1名 (1%)	4名 (5%)

↑ 2人
↑ 2人

- ・ 講演後84%の方が「在宅医療を希望」
- ➡在宅医療に対する認識を広め、希望者を増やすことはできたが、半数以上は実現が難しいと感じている。
- ・ 「最期を迎えたい場所」に56%の方が「自宅」を選択
- ➡講演内容に在宅看取りについての具体的な案内が少なく、在宅ケアに関する案内が多かったため、講演前後に大きな増減は無いが、希望者は以前よりも増えている。(H27市民向けアンケート調査では45%)
- ★在宅医療と自宅での看取りについて、より具体的で身近な内容の啓発活動を企画する。

7. 『もしも』に備え、あなたが最期にどのような医療を望むか、家族等と話し合ったことはありますか

①ある	33名	39%	年代別	50歳未満	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代
②ない	49名	58%	ある	2	0	43%(6)	40%(20)	38%(5)
③未回答	3名	3%	ない	1	2	57%(8)	60%(30)	62%(8)

- 58%が「話し合ったことがない」を選択
- ➡年代別で見ると、高齢になるにつれ「話し合ったことがある」割合が高くなるべきだが、そうっていない。
- ★ACP（人生会議）の重要性を啓発していく。

8. 講演会全体についてお気づきの点があればご記入ください

- ・ 素晴らしいお話で多くの考えさせられることがありました。できることをできる人からでしょうか。
- ・ 地域性がある世田谷と同じことは難しい。都会と地方の違いがあると思う。
- ・ もう少し奥に入った話も聞きたかった。現実の所家族を巻き込んだ話になるとどうなるのか。
- ・ 内容は分かり易かったが時間が長い。・身近な事として考えていきたい。

ほか